

## 脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進する サンフロンティアと資本業務提携へ

～両社での営農型太陽光発電所建設を通じて、日本の再生可能エネルギーの利活用をさらに促進～

営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の企画・コンサルティング・架台システムの提供を手掛けるノータスソーラージャパン株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：高橋 隆造、以下 ノータスソーラージャパン）は、不動産のバリューアップを中核に、事業を通じて持続可能な社会の実現に取り組むサンフロンティア不動産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤 清一、以下サンフロンティア）と、資本業務提携に関する基本合意を締結したことをお知らせします。



ノータスソーラージャパンは、農地上空に太陽光発電設備を設置し、農作物を栽培しながら、再生可能エネルギーの発電を両立させる営農型太陽光発電事業を通じて、日本のエネルギーと農業、そして地域の未来をつくることを目指しています。現在、太陽光発電設備の設置に適した土地が徐々に減少しているなかで、432万5,000ヘクタール※にものぼる全国の耕地面積を有効に活用した営農型太陽光発電は、これからの再生可能エネルギーによる脱炭素への取り組みをさらに推進することに加え、農業とその地域を活性化させる取り組みにもつながるとして、近年注目を浴びています。

そういった中、ノータスソーラージャパンは、イタリアのREMTEC社が国際特許を有する3次元追尾太陽光発電技術「アグロボルタイコ」の国内独占展開権を取得、日本の農業に最適化した「ノータスソーラーシステム」を設計、提供し、日本における再生可能エネルギーの利活用を促進し、農業の活性化へつなげています。

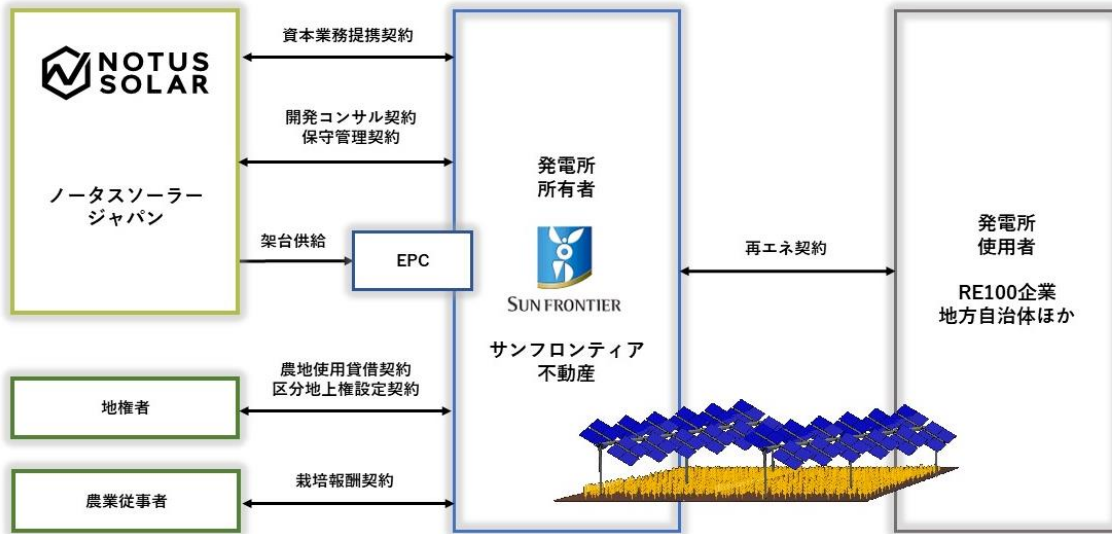
この度、不動産のバリューアップを通して持続可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進しているサンフロンティアとの資本業務提携に関する基本合意の締結を行うことにより、ノータスソーラーシステムによる営農型太陽光発電所を両社で設計・建設を行い、より一層の日本の脱炭素化と農業の活性化を促進していきます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

ノータスソーラージャパン株式会社 TEL：06-7878-6009 FAX：06-6318-0267 E-mail：info@notus.co.jp

## 営農型太陽光発電所の建設によって自治体・民間企業等の再生可能エネルギーの活用を促進




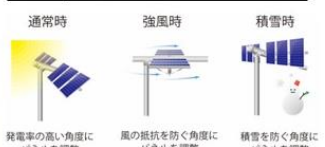
ノータスソーラージャパンが、サンフロンティアとともに全国で開発・建設される営農型太陽光発電所は、地域の農業関係者と一丸となって運営され、日本の農業や地域の活性化にも寄与していきます。また、自治体・民間企業等に、様々な接続方法で“追加性”を持った再生可能エネルギーを供給することで、脱炭素社会の実現に向けて、その普及拡大を実現します。



## 国際特許技術を有する 3次元追尾太陽光発電技術を組み入れた「ノータスソーラーシステム」

ノータスソーラージャパンが提供する「ノータスソーラーシステム」に組み込まれている太陽光発電技術「アグロボルトアイコ」は、広い営農空間を確保でき、かつ可動式の太陽光パネルを任意に動かすことによる遮光をコントロールする機能があるため、ソーラーシェアリングの取り組みで懸念が多い太陽光パネルによる農作物栽培への影響を抑えられることが特徴です。

加えて、太陽光を 3次元で追尾するプログラムによって、高い発電効率を実現し、強風や積雪等の災害時には自動的に太陽光パネルのポジションを変更させることで、破損等による被害を防ぐことができます。

<p><b>1</b> 広い営農空間による 高い栽培力</p> 	<p><b>2</b> 影を操ることによる 高い収穫力</p> 	<p><b>3</b> 3次元追尾による 高い発電力</p> 	<p><b>4</b> 災害を自動回避する 高い安全性</p> 
<p>柱間10～18m、高さ4～5mもある広い営農空間によって従来の架台では不可能だった大型農機が利用可能に。農業機械の使用時は遠隔操作でパネルを水平にします。</p>	<p>パネルの影によって作物の成長に影響が出た場合、シャドウソフトウェアで影の量を調整することで、作物の生育を促します。収量減によるパネル撤去リスクが大きく軽減。</p>	<p>国際特許を取得した3次元追尾システムによって、発電量は固定式に比べて大きく向上します。農地の向き問わず、日本の農地の大半に設置が可能。</p>	<p>センサーによって悪天候を感知し、全自動でパネルの角度を変えて危機を回避。予報で強風などが分かっている場合は、遠隔操作で事前に対処。</p>

今後は、全国の自治体・民間企業等に向けてソーラーシェアリングの利活用を提案し、2030年までに400ヘクタールの農地に合計200MWの「ノータスソーラーシステム」を設置し、年間3億kWh以上の発電を目指すとともに、日本農業の発展に尽力してまいります。

※農林水産省 HP「令和4年耕地面積（7月15日現在）」より

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka\\_gaiyou/sakumotu/menseki/r4/kouti/index.html](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/menseki/r4/kouti/index.html)

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

ノータスソーラージャパン株式会社 TEL : 06-7878-6009 FAX : 06-6318-0267 E-mail : info@notus.co.jp

## ノータスソーラージャパン株式会社について

ノータスソーラージャパンは、日本のエネルギーと農業、そして地域の未来をつくることを目指し、ソーラーシェアリングに関するソリューションを提案する会社として、2022年に設立されました。同社のルーツである農業の目線で設計されたソーラーシェアリング「ノータスソーラーシステム」を使い、再生可能エネルギーを供給しながら農業に新しい収入をもたらす仕組みを提供しています。

<https://notussolarjapan.co.jp/>

## サンフロンティア不動産株式会社について

サンフロンティアは、東京都心部における中規模オフィスビルの再生と活用に特化したオフィス事業を展開し、「利を求むるに非ず、信任を求むるにあり。変わるのは自分、お客様視点で、お困りごとを解決する。期待以上で応える！」という方針のもと、“世界一お客様に愛されるビジナリー・カンパニー”を目指しております。中核の不動産バリューアップ事業（リプランニング®）では、ビルの仕入れから、再生・活用企画、建設工事、テナント誘致、管理、販売、そして、その後のビル経営に至るまで、一貫した不動産サービスをワンストップで提供しております。事業を通じて、ビルオーナー様とテナント様と一体となり、豊かでサステナブルな街づくり、社会づくりに取り組んでおります。

会社名：サンフロンティア不動産株式会社

所在地：東京都千代田区有楽町一丁目2番2号 東宝日比谷ビル 14階

代表者：代表取締役社長 齋藤 清一

設立年月：1999年4月

URL：<https://www.sunfrt.co.jp/>

---

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

ノータスソーラージャパン株式会社 TEL：06-7878-6009 FAX：06-6318-0267 E-mail：info@notus.co.jp